

事業者における自己評価結果（公表）

公表：平成 31年 2月 28日

事業所名 あしたのつばさ陣原

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制 整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	<input type="radio"/>		活動によって活動場所を変更しています。	
	②	職員の配置数は適切である	<input type="radio"/>			
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている		<input type="radio"/>		事業所の特性上完全なバリアフリー化は難しい面もあります。事業所内の配置や物品の精査を行う事で児童の過ごしやすい環境を目指します。
業務 改善	④	業務改善を進めるための PDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	<input type="radio"/>		昼礼にて当日の活動におけるもう表設定を行い、終礼にてその振り返りを行っています。	
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	<input type="radio"/>		年度末に保護者に向けた事業所改善アンケートを実施しています。	ご指摘受けた事項に関しては、改善計画を策定し、保護者に回報後、実施しています。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	<input type="radio"/>		弊社ホームページ上にて公開しています。	
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		<input type="radio"/>		
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	<input type="radio"/>		定期的な職員研修を実施するとともに、参加することが出来なかった職員には個別で振り返る機会を作っています。	
適切な 支援 の 提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	<input type="radio"/>			
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	<input type="radio"/>			
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っている	<input type="radio"/>		各活動にはチームリーダーが存在し、活動会議を月に一度実施しています。チームリーダーを中心としたプログラムの改善にチームで努めています。	
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	<input type="radio"/>			
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	<input type="radio"/>		活動における児童の目標を職員の昼礼時に設定し、支援を行っています。祝日や長期休暇時の活動も目標を設定しています。	
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成している	<input type="radio"/>		基本的な活動は集団活動になりますが、児童の状況に応じて個別での活動を行っています。	
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	<input type="radio"/>		活動開始前に昼礼を行い、当日プログラムの確認と担当利用児の目標設定を行っています。	
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	<input type="radio"/>		活動の終わりに終礼を行い、昼礼で立てた目標の振り返りや、特記事項を共有しています。	

	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		終礼時に担当利用児のケース記録を記入します。	
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○		半期に一度のモニタリングを行っています。	
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている	○			
関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		本児に特にかかわりのある職員が参加することに努めています。	
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	○		直接学校との連絡調整を行っている場合と、保護者様を通じて行っている場合と、ケースに応じ対応を行っています。	
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	○			活動の性質上、当事業所にて前例がないため、今後検討していきます。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○			事業所利用以前の情報については、保護権者からの聞き取り調査を実施しています。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	○			当事業所に該当する児童は今まで居ませんでした。保護者様を通じ、支援内容の提示を行えるよう努めます。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		定期的に行われる研修会への参加を行っています。DN-CAS研究会に属し、専門的な支援の助言をいただいています。	
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	○		自主開催イベント「ZAN」にて、地域のダンススクール及び太鼓演奏団体の児童と一緒に活動の発表をする場面を設けています。	活動を発信することは行っていますが、障がいのない児童とのかわりは今まで利用児の兄弟児のみでした。活動の成果を発信すると共に、地域の学童等、障がいのない児童との活動を検討します。
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加している	○			
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		連絡帳・ホームページ・送迎時の保護者への申し送りを行っています。	連絡帳の活用はあまり出来ていない、ホームページのさらなる活用、送迎時の保護者への申し送りを強化していきます。
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	○		ペアレントトレーニングとしての位置づけではありませんが、不定期に支援等の講演会を実施し、保護者様へ案内を行っています。	
	⑳	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約時及びモニタリング時に行っています。	
	㉑	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○			

保護者への説明責任等	③②	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○	父母会が存在していません	
	③③	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している		○	対応窓口の設置、苦情解決責任者を置き、迅速かつ適切に対応しています。	
	③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行動予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している		○	ホームページやSNS等にて定期的な活動の発信を行っています。また各活動の発表の機会を設けています。	
	③⑤	個人情報に十分注意している		○	個人情報の取り扱いに関する職員研修を定期的に開催しています。	
	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている		○	各利用児に有効であるツールを個別ケース会議において検討し使用しています。	
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○	年に一度自主開催イベントを行っています。	
非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか		○		作成し、契約時に確認を行ってはいませんが、今回のアンケートにて周知は出来ていなかったことが判明しました。今後は実施の様子をホームページ上で発信していきます。
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている		○		
	④①	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している		○		前例が無いため未実施でした。面談時に保護者様への説明および、対応時には丁寧な記録を残すよう努めます。
	④②	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		○	保護者からの聞き取りを実施。	
	④③	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している		○	実際に起こった事例については共有することが出来ていますが、事例集の作成は行っていませんでした。	

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

保護者からの事業所評価の集計結果（公表）

別紙 4

公表：平成 31年 2月 28日

事業所名 あしたのつばさ折尾

保護者等数：30 回収数：16 割合：53%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制 整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	10	6				
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	7	9				
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	8	5	3			
適切な 支援の 提供 提供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画 ¹ が作成されているか	11	5				
	⑤	活動プログラム ² が固定化しないよう工夫されているか	11	5				
	⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	6	8	2			
保護者 への 説明 等	⑦	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	8	9	1			
	⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	11	5				
	⑨	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	7	8	1			
	⑩	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	3	10	3			
	⑪	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	9	7				
	⑫	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	6	9	1			
	⑬	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	4	7	5			
	⑭	個人情報に十分注意しているか	9	7				

非常時等の対応	⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	4	8	4			
	⑯	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	5	8	3			
満足度	⑰	子どもは通所を楽しみにしているか	16					
	⑱	事業所の支援に満足しているか	15	1				

○ この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。